

清水町営住宅入居申込書

申込者	(フリガナ) 氏名	郵便番号 現住所						
	自宅電話	—	—	携帯電話	—	—		
	申込者 勤務先名称	勤務先住所 勤務先電話						
保証人記入欄								
申請者との関係		住 所		勤 務 先		年 齢	氏名・印	
						才	印	
町営住宅に入居する者等								
	氏 名	続 柄	生年月日	職 業	勤務先の名称・所在地		勤続年数	年間収入
入居者		本人	・ ・				・	
同居 する 親族			・ ・				・	
			・ ・				・	
			・ ・				・	
			・ ・				・	
			・ ・				・	
			・ ・				・	
別居 扶養 親族			・ ・				・	
			・ ・				・	
			・ ・				・	
住宅困窮 の理由 (該当する 番号に○印 をして説明 欄に具体的 な理由を記 入する。)	No. 区 分					説 明		
	1	保安上危険・不衛生な建物にいる。						
	2	他の世帯と同居している。						
	3	住宅がないため親族と同居することができない。						
	4	間取りが狭い。						
	5	正当な立ち退きを受けている。						
	6	家賃が高すぎる。						
	7	勤務地に遠い。						
	8	以上の他の理由						

現在入居している住宅の現況 (該当する箇所に○印または、文字で記入する。)	住宅の種類	A自家 B借家 C間借 Dアパート・マンション E寮 F社宅 G公共住宅 H下宿 Iその他 ( )				
	居室の数	室 量 (台所・トイレ・風呂を除く)				
	台所は	専用・共用	便所は	専用・共用	風呂は 専用・共用・なし	
	この住宅に入居したのは	年	月	日	家賃は , 円	
	家主の氏名	家主の住所				
申込希望住宅	第1希望	第2希望		第3希望		
	団地名	号数	団地名	号数	団地名	号数
<p>この申込みについては、次のことを誓約します。</p> <p>1 この申込書に記載した事項はすべて事実と相違ありません。</p> <p>2 この申請書に偽りの事項があった場合は、町営住宅の入居決定の取消しを受けても異議を申し立てません。</p> <p>3 この申込書に記載した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。</p> <p>4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。</p>						
清水町長		様		年 月 日		
				フリガナ 申込者氏名		印

注 太枠の部分を記入してください。

<収入計算表>

1	所得	=	=	=	=
2	区 分	控除金額	対 象	計	
①	同居・扶養控除額	円	× 人	円	
②	給与・年金控除額	円	× 人	円	
③	老人扶養控除額	円	× 人	円	
④	特定扶養親族控除額	円	× 人	円	
⑤	障害者控除額	円	× 人	円	
⑥	特別障害者控除額	円	× 人	円	
⑦	寡婦(夫)控除額	円	× 人	円	
⑧	ひとり親控除額	円	× 人	円	
控除額合計		円			
3	公営住宅法に定める収入月額				
	所得金額				
	－ 控除額合計				
	収入月額	収入月額： <input type="text"/>			
4	令和 年度入居収入基準				
	円				
審査欄	○ 基準以内		× 収入超過		

<処理欄>

	団地	
	号数	



様式第1号の2 (第3条、第9条、第10条関係)

年 月 日

清水町長 阿 部 一 男 様

## 同 意 書

町長が清水町営住宅管理条例（平成9年清水町条例第2号）第52条の規定により、暴力団員であるかどうかについて新得警察署長の意見を聴くことについて同意します。

番号	フリガナ 氏 名	本 籍	生年月日
1	印		
2	印		
3	印		
4	印		
5	印		

注1 氏名欄に自署した場合は、押印を省略できます。

2 本籍及び生年月日を証明する書面を添付してください。

別表2 (第6条関係)

(別紙3)

## 住宅困窮度判定基準

判定項目	判定基準項目	評点
住宅以外の建物若しくは場所に居住している者	1 工場、倉庫などの非住宅に居住している	10
	2 非住宅を内部改装等により転用した住宅に居住している	5
保安上危険若しくは衛生上有害な状態にある住宅に居住している者	1 袋小路に住宅があり避難通路が無い	3
	2 悪臭を放つ施設があり悪臭がひどい	5
	3 耐用年数を越えた住宅で、住宅構造部分に大修繕を要する	5
	4 1日中ほとんど日照、通風が無い	3
	5 自己の責によらず不衛生な住宅に居住している	5
他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている者	1 ひとつの住宅に2世帯以上同居している(直系親族の場合は含まない)	5
住宅がないため、親族と同居することができない者	1 住宅が狭いため、配偶者(婚約者を含む)又は扶養を要する親子が別居している	7
住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上又は風教上不適当な居住状態にある者	1 台所、便所を共同で使用している	5
	2 浴室が設置されていない	3
	3 夫婦と12歳以上の者が1室に就寝している	5
	4 住戸専用面積が最低居住水準以下である	10
正当な事由による立退きの要求を受け適当な立退先が無いため困窮している者	1 家主から立退き要求を受けている(自己の責によるものを除く)	10
	2 裁判上の立退き要求を受けている	10
住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている者	1 現在町内に在住しており、町内に勤務している	3
	2 現在町外に在住しており、町外から町内に通勤している	5
収入に比して著しく過大な家賃の支払を余儀なくされている者	1 家賃負担率が30.0%以上である	5
	2 家賃負担率が20.0%以上30%未満である	3
現に住宅に困窮しているのが明らかな者	1 結婚のため	5
	2 離婚のため	5
	3 管外から町内に転入し、町内に勤務することが確実である	7
その他	1 20歳未満の子を扶養しているひとり親世帯の親	5
	2 引揚者	5
	3 炭鉱離職者	5
	4 入居者及び同居者が60歳以上の者のみ	5
	5 心身障害者	5
	6 配偶者からの暴力被害者	5
	7 犯罪被害者等	5
	8 同居者数×1点	
	9 多落選者(1回×1点)	

(別紙4)

## 給与見込証明書

年 月 日

上川郡清水町長 様

事業主

印

受給者氏名\_\_\_\_\_の給与額は下記のとおりの見込みであることを、  
証明します。

記

\_\_\_\_年分

月別	基本給与	諸手当	諸手当の内訳・その他	
1月	円	円		
2月	円	円		
3月	円	円		
4月	円	円		
5月	円	円		
6月	円	円		
7月	円	円		
8月	円	円		
9月	円	円		
10月	円	円		
11月	円	円		
12月	円	円		
計	円	円	合計	円

(別紙5)

婚 約 証 明 書

(新郎) \_\_\_\_\_と(新婦) \_\_\_\_\_は

年 月 日に入籍予定であり、現在婚約中であることを証明します。

年 月 日

(新郎側 親)

住 所

氏 名

印

(新婦側 親)

住 所

氏 名

印

清水町長 阿 部 一 男 様